

稲作情報 No.5

麦適期収穫

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

【概況】

麦の平坦部の出穂期の盛期は4月16日頃、奥越地区は5月8日頃となりました。

【大麦】

- ・圃場内にカラスノエンドウの発生が確認された場合は、早めに手取り等を実施しましょう。
- ・赤かび病の発生がないか注意しましょう
- ・積算気温による成熟期の予測は、平坦部で5月30日頃、奥越地区で6月17日頃となる見込みです。
- ・穀粒水分を確認して適期に収穫しましょう

穀粒水分は55～40%くらいまでは1.2～1.6%/日、40%以下から刈取り開始期までは2.1～3.2%/日の割合で低下する傾向にあり、水分測定を実施すれば、次式によって刈取り開始日の予測がある程度可能となる。

$$D = (W - 40) / 1.4 + 4$$

D：調査日から刈取り開始日(水分30%以下)までの予測日数

W：調査日の穀粒水分、55%までは予測可能

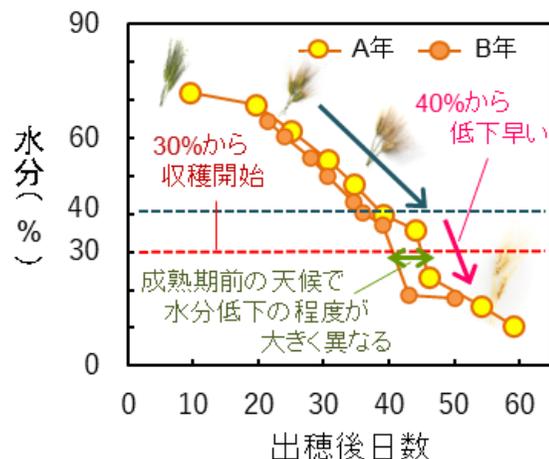
【麦圃場内のカラスノエンドウに注意！】



圃場に発生したカラスノエンドウ
(成熟期時)

【収穫に関する注意事項】

水分低下のモデル



- ・水分40%から低下が早くなる
- ・雨で一時的に水分が高まっても晴れるとすぐに戻る
- ・成熟期前に晴れが続くと急速に低下する
- ・赤かび病やカラスノエンドウの有無を確認する
- ・水分30%から刈り始める
- ・収穫後は遅くとも4時間以内に通風乾燥する
- ・収穫始めなど水分が高いときは乾燥開始を早める